

## 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

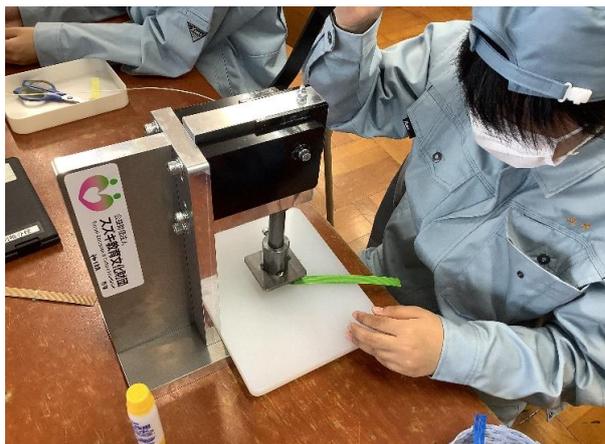
P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	36人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	ハンドプレス機（抜き型用工具）
使用学年及び人数	高等部1～3年 36人
使用頻度	週2回の作業学習   年3回の作業製品販売会前の集中作業期間
使用状況	<p>自主生産作業【革工芸班】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネコや犬のキーホルダーやコインケース等の型抜きに使用している。</li> </ul> <p>自主生産作業【手工芸班】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小物入れやリースづくりにおいて、飾る小さなパーツの型抜きに使用している。</li> </ul>
物品の使用による変化や効果	<p>ハンドプレス機の台数が増えたことにより、多くの生徒が使用できる機会が増えた。さらには一人の生徒の使用時間が長くなり、プレスする際の微妙な力加減を身につけることができるようになった。</p> <p>また、前年度にいただいたRP2000型は、プレス面の大きさが15cm×15cmと大きく、大きな力を必要とする型抜きには効果絶大だが、今回いただいたALL2000型は、プレス面が6cm×6cmと比較的小さく、型抜きをする素材が柔らかいものや小さいものに功を奏している。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>手工芸班において、アタッチメントを使用した穴あけを活用し、小物入れのパーツを作ることができた。このことにより、商品開発の幅が広がり、生徒の意見も反映しやすくなった。</p> <p>また、プレスする面が小さいため、手元を見やすいので革を切り抜く際の余白を最小限に抑えることができ、材料の無駄を省くことにもつながっている。</p>
その他希望や所感など	<p>当校は、6月のしぶき祭（池新田高校の学校祭）、11月の御前崎市大産業まつり、2月の御前崎市役所販売会の年間3回の販売会を学校生活のテーマとして、自主生産作業に注力しています。</p> <p>本機と前年度寄贈いただいたハンドプレス機とのコラボレーションにより、製品の生産数が増加し、販売会への期待度へとつながっています。</p>

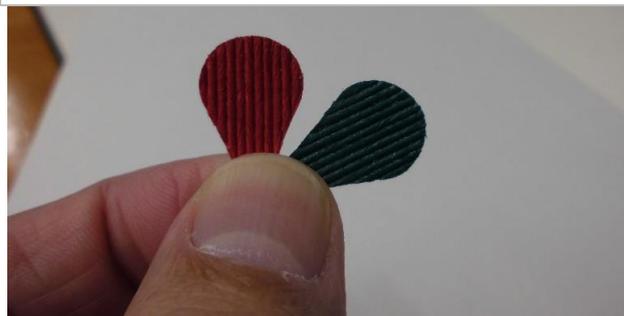
## 2. 活用の様子

### 【手工芸班】



### <椿の花弁と葉>

ハンドプレス機の初心者・初級者を問わず、誰でも簡単に小さなパーツを切り抜くことができます。



<柗の葉>  
とがった葉先がポイントです。



切り抜いたパーツをボンドで張り合わせると花になります。

椿(ツバキ)の花

### 【革工芸班】



小物の型抜きには最適。  
力が一点に集中しやすいです。  
また手元が見やすいため、  
作業の精度が上がりました。



柗(ヒイラギ)の花



猫と犬のキーホルダー